

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 19 年 4 月 19 日 (2007.4.19)

【公開番号】特開 2002-135221 (P2002-135221A)  
 【公開日】平成 14 年 5 月 10 日 (2002.5.10)  
 【出願番号】特願 2000-319420 (P2000-319420)  
 【国際特許分類】

<b>H 0 4 H</b>	<b>1/00</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>H 0 4 B</b>	<b>1/16</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>H 0 4 N</b>	<b>5/44</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>H 0 4 N</b>	<b>17/00</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>G 1 0 L</b>	<b>17/00</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>G 1 0 L</b>	<b>15/00</b>	<b>(2006.01)</b>

【F I】

H 0 4 H	1/00	N
H 0 4 B	1/16	M
H 0 4 N	5/44	Z
H 0 4 N	17/00	M
G 1 0 L	3/00	5 4 5 A
G 1 0 L	3/00	5 5 1 G

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 3 月 6 日 (2007.3.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】情報受信装置および方法、情報送信装置および方法、並びに記録媒体

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ユーザがコンテンツを受信した履歴を記憶する記憶手段と、  
 前記ユーザの個人情報を取得する第 1 の取得手段と、  
 前記ユーザをクラスに分類するクラスタリングルールを取得する第 2 の取得手段と、  
 前記第 2 の取得手段により取得されたクラスタリングルールを、前記ユーザがコンテンツを受信した履歴と、前記ユーザの個人情報とに適用して、前記ユーザのクラスを決定するクラス決定手段と

を備えることを特徴とする情報受信装置。

【請求項 2】 前記個人情報は、前記ユーザの性別、年齢、または居住している地域を含み、

前記ユーザがコンテンツを受信した履歴は、前記コンテンツのジャンルを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の情報受信装置。

【請求項 3】 前記クラス決定手段により決定された前記ユーザのクラスをネットワークを介して出力する出力手段と  
 さらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の情報受信装置。

【請求項 4】 前記出力手段は、前記ユーザがコンテンツを受信した履歴もさらに出力する

ことを特徴とする請求項 3 に記載の情報受信装置。

【請求項 5】 前記クラス決定手段により決定された前記ユーザのクラスに基づいて、ザッピング用チャンネルの順位を決定する順位決定手段をさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の情報受信装置。

【請求項 6】 ユーザがコンテンツを受信した履歴を記憶する記憶ステップと、前記ユーザの個人情報を取得する第 1 の取得ステップと、前記ユーザをクラスに分類するクラスタリングルールを取得する第 2 の取得ステップと、

前記第 2 の取得ステップの処理により取得されたクラスタリングルールを、前記ユーザがコンテンツを受信した履歴と、前記ユーザの個人情報とに適用して、前記ユーザのクラスを決定するクラス決定ステップと

を含むことを特徴とする情報受信方法。

【請求項 7】 ユーザがコンテンツを受信した履歴の記憶を制御する記憶制御ステップと、

前記ユーザの個人情報を取得する第 1 の取得ステップと、

前記ユーザをクラスに分類するクラスタリングルールを取得する第 2 の取得ステップと、

前記第 2 の取得ステップの処理により取得されたクラスタリングルールを、前記ユーザがコンテンツを受信した履歴と、前記ユーザの個人情報とに適用して、前記ユーザのクラスを決定するクラス決定ステップと

を含むことを特徴とするコンピュータが読み取り可能なプログラムが記録されている記録媒体。

【請求項 8】 ユーザが受信したコンテンツのジャンルと、前記ユーザの個人情報に基づいて、前記ユーザのクラスを決定するクラスタリングルールを生成する生成手段と、

前記生成手段により生成された前記クラスタリングルールを、前記ユーザの情報受信装置に送信する送信手段と

を備えることを特徴とする情報送信装置。

【請求項 9】 前記情報受信装置により前記ユーザが受信したコンテンツのジャンルを取得する取得手段をさらに備え、

前記生成手段は、前記取得手段により取得された前記ジャンルに基づいて、前記クラスタリングルールを生成する

ことを特徴とする請求項 8 に記載の情報送信装置。

【請求項 10】 前記送信手段により送信された前記クラスタリングルールに従って決定された前記ユーザのクラスを、前記ユーザがコンテンツを受信した履歴とともに受信する受信手段を

さらに備えることを特徴とする請求項 8 に記載の情報送信装置。

【請求項 11】 ユーザが受信したコンテンツのジャンルと、前記ユーザの個人情報に基づいて、前記ユーザのクラスを決定するクラスタリングルールを生成する生成ステップと、

前記生成ステップの処理により生成された前記クラスタリングルールを、前記ユーザの情報受信装置に送信する送信ステップと

を含むことを特徴とする情報送信方法。

【請求項 12】 ユーザが受信したコンテンツのジャンルと、前記ユーザの個人情報に基づいて、前記ユーザのクラスを決定するクラスタリングルールを生成する生成ステップと、

前記生成ステップの処理により生成された前記クラスタリングルールを、前記ユーザの情報受信装置に送信する送信ステップと

を含むことを特徴とするコンピュータが読み取り可能なプログラムが記録されている記

録媒体。

【請求項 1 3】 ユーザの第 1 の情報に関する第 2 の情報を取得する取得手段と、前記取得手段により取得された前記第 2 の情報に基づいて、第 3 の情報を前記第 1 の情報に挿入するタイミングを決定する決定手段と、

前記決定手段により決定された前記タイミングに基づいて、前記第 1 の情報に対する前記第 3 の情報の挿入タイミングを制御する制御手段と、

前記第 1 の情報と第 3 の情報を前記ユーザの情報受信装置に送信する送信手段とを備えることを特徴とする情報送信装置。

【請求項 1 4】 前記第 1 の情報は、コンテンツであり、前記第 3 の情報は、コマーシャルであることを特徴とする請求項 1 3 に記載の情報送信装置。

【請求項 1 5】 前記取得手段は、前記第 2 の情報として、前記ユーザが前記第 1 の情報の受信を要求したことを表す情報を取得することを特徴とする請求項 1 3 に記載の情報送信装置。

【請求項 1 6】 前記決定手段は、挿入する前記第 3 の情報の種類もさらに決定することを特徴とする請求項 1 3 に記載の情報送信装置。

【請求項 1 7】 前記取得手段は、前記第 2 の情報として、前記第 1 の情報を選択した前記ユーザの第 1 の情報の嗜好を表す嗜好情報を取得することを特徴とする請求項 1 3 に記載の情報送信装置。

【請求項 1 8】 前記取得手段は、前記嗜好情報として、前記ユーザが受信した第 1 の情報のジャンルと、前記ユーザの個人情報に基づいて、クラスタリングルールに基づいて決定された前記ユーザのクラスを取得することを特徴とする請求項 1 7 に記載の情報送信装置。

【請求項 1 9】 前記クラスタリングルールを生成する生成手段と、前記生成手段により生成された前記クラスタリングルールを、前記ユーザの情報受信装置に送信する送信手段とをさらに含むことを特徴とする請求項 1 8 に記載の情報送信装置。

【請求項 2 0】 ユーザの第 1 の情報に関する第 2 の情報を取得する取得ステップと、

前記取得ステップの処理により取得された前記第 2 の情報に基づいて、第 3 の情報を前記第 1 の情報に挿入するタイミングを決定する決定ステップと、

前記決定ステップの処理により決定された前記タイミングに基づいて、前記第 1 の情報に対する前記第 3 の情報の挿入タイミングを制御する制御ステップと、

前記第 1 の情報と第 3 の情報を前記ユーザの情報受信装置に送信する送信ステップとを含むことを特徴とする情報送信方法。

【請求項 2 1】 ユーザの第 1 の情報に関する第 2 の情報を取得する取得ステップと、

前記取得ステップの処理により取得された前記第 2 の情報に基づいて、第 3 の情報を前記第 1 の情報に挿入するタイミングを決定する決定ステップと、

前記決定ステップの処理により決定された前記タイミングに基づいて、前記第 1 の情報に対する前記第 3 の情報の挿入タイミングを制御する制御ステップと、

前記第 1 の情報と第 3 の情報を前記ユーザの情報受信装置に送信する送信ステップとを含むことを特徴とするコンピュータが読み取り可能なプログラムが記録されている記録媒体。

【請求項 2 2】 ユーザの第 1 の情報に関する第 2 の情報を取得する取得手段と、

前記取得手段により取得された前記第 2 の情報を、前記第 1 の情報の情報送信装置に送信する送信手段と、

前記送信手段により送信された前記第 2 の情報に基づくタイミングで、前記第 1 の情報に挿入された第 3 の情報を受信する受信手段とを備えることを特徴とする情報受信装置。

【請求項 2 3】 前記第 1 の情報は、コンテンツであり、  
前記第 3 の情報は、コマーシャルである  
ことを特徴とする請求項 2 2 に記載の情報受信装置。

【請求項 2 4】 ユーザの第 1 の情報に関する第 2 の情報を取得する取得ステップと、  
、  
前記取得ステップの処理により取得された前記第 2 の情報を、前記第 1 の情報の情報送信装置に送信する送信ステップと、  
前記送信ステップの処理により送信された前記第 2 の情報に基づくタイミングで、前記第 1 の情報に挿入された前記第 3 の情報を受信する受信ステップと  
を含むことを特徴とする情報受信方法。

【請求項 2 5】 ユーザの第 1 の情報に関する第 2 の情報を取得する取得ステップと、  
、  
前記取得ステップの処理により取得された前記第 2 の情報を、前記第 1 の情報の情報送信装置に送信する送信ステップと、  
前記送信ステップの処理により送信された前記第 2 の情報に基づくタイミングで、前記第 1 の情報に挿入された前記第 3 の情報を受信する受信ステップと  
を含むことを特徴とするコンピュータが読み取り可能なプログラムが記録されている記録媒体。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、情報受信装置および方法、情報送信装置および方法、並びに記録媒体に関し、特に、個人情報に安全に送受信することができるようにした、情報受信装置および方法、情報送信装置および方法、並びに記録媒体に関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 8】

本発明の第 2 の記録媒体のプログラムは、ユーザが受信したコンテンツのジャンルと、ユーザの個人情報に基づいて、ユーザのクラスを決定するクラスタリングルールを生成する生成ステップと、生成ステップの処理により生成されたクラスタリングルールを、ユーザの情報受信装置に送信する送信ステップとを含むことを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 1  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】  
【手続補正 8】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 2 2  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】  
【手続補正 9】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 2 3  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 0】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 2 4  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 1】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 2 5  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 2】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 2 6  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 3】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 2 7  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 4】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 2 8  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 5】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 2 9  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 6】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 3 0  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 7】  
【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 1

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 8】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 2

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 9】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 3

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 2 0】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 4

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 2 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 5

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 2 2】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 6

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 2 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 3 7】

本発明の第2の情報送信装置は、ユーザの第1の情報に関する第2の情報を取得する取得手段と、取得手段により取得された第2の情報に基づいて、第3の情報を第1の情報に挿入するタイミングを決定する決定手段と、決定手段により決定されたタイミングに基づいて、第1の情報に対する第3の情報の挿入タイミングを制御する制御手段と、第1の情報と第3の情報をユーザの情報受信装置に送信する送信手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正 2 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 4 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 4 4】

本発明の第2の情報送信方法は、ユーザの第1の情報に関する第2の情報を取得する取得ステップと、取得ステップの処理により取得された第2の情報に基づいて、第3の情報を第1の情報に挿入するタイミングを決定する決定ステップと、決定ステップの処理により決定されたタイミングに基づいて、第1の情報に対する第3の情報の挿入タイミングを

制御する制御ステップと、第 1 の情報と第 3 の情報をユーザの情報受信装置に送信する送信ステップとを含むことを特徴とする。

【手続補正 2 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 6】

本発明の第 2 の情報受信装置は、ユーザの第 1 の情報に関する第 2 の情報を取得する取得手段と、取得手段により取得された第 2 の情報を、第 1 の情報の情報送信装置に送信する送信手段と、送信手段により送信された第 2 の情報に基づくタイミングで、第 1 の情報に挿入された第 3 の情報を受信する受信手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正 2 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 8】

本発明の第 2 の情報受信方法は、ユーザの第 1 の情報に関する第 2 の情報を取得する取得ステップと、取得ステップの処理により取得された第 2 の情報を、第 1 の情報の情報送信装置に送信する送信ステップと、送信ステップの処理により送信された第 2 の情報に基づくタイミングで、第 1 の情報に挿入された第 3 の情報を受信する受信ステップとを含むことを特徴とする。

【手続補正 2 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 9】

本発明の第 4 の記録媒体のプログラムは、ユーザの第 1 の情報に関する第 2 の情報を取得する取得ステップと、取得ステップの処理により取得された第 2 の情報を、第 1 の情報の情報送信装置に送信する送信ステップと、送信ステップの処理により送信された第 2 の情報に基づくタイミングで、第 1 の情報に挿入された第 3 の情報を受信する受信ステップとを含むことを特徴とする。

【手続補正 2 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3 1】

【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0053  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正32】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0054  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正33】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0055  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正34】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0056  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正35】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0057  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正36】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0058  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正37】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0059  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正38】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0060  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正39】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0061  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正40】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0062  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正41】



【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0063  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正42】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0064  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正43】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0065  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正44】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0066  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0066】

本発明の第1の情報受信装置および方法、並びに第1の記録媒体のプログラムにおいては、取得したクラスタリングルールを、コンテンツを受信した履歴と個人情報に適用して、ユーザのクラスが決定される。

【手続補正45】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0067  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0067】

本発明の第1の情報送信装置および方法、並びに第2の記録媒体のプログラムにおいては、クラスタリングルールが生成され、ユーザの情報受信装置に送信される。

【手続補正46】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0068  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正47】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0069  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正48】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0070  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正49】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0071  
【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 2】

本発明の第 2 の情報送信装置および方法、並びに第 3 の記録媒体のプログラムにおいては、ユーザの第 1 の情報に関する第 2 の情報に基づいて、第 3 の情報を第 1 の情報に挿入するタイミングが決定される。

【手続補正 5 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 3】

本発明の第 2 の情報受信装置および方法、並びに第 4 の記録媒体のプログラムにおいては、送信した第 2 の情報に基づくタイミングで、第 1 の情報に挿入された第 3 の情報が受信される。

【手続補正 5 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 2 1 8】

【発明の効果】

以上の如く、本発明の第 1 の情報受信装置および方法、並びに第 1 の記録媒体のプログラムによれば、情報受信装置のユーザは、自分自身の個人情報を外部に漏らさずに提示することが可能となる。

【手続補正 5 7】

【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 2 1 9  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0 2 1 9】

本発明の第1の情報送信装置および方法、並びに第2の記録媒体のプログラムによれば、情報受信装置のユーザを、その個人情報が外部に漏れることを抑制するように支援することが可能となり、かつ、ユーザから個人情報を取得し易くなる。

【手続補正58】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 2 2 0  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正59】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 2 2 1  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正60】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 2 2 2  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正61】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 2 2 3  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正62】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 2 2 4  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0 2 2 4】

本発明の第2の情報送信装置および方法、並びに第3の記録媒体のプログラムによれば、第3の情報をより効率的に、ユーザに提示することが可能となる。

【手続補正63】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 2 2 5  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0 2 2 5】

本発明の第2の情報受信装置および方法、並びに第4の記録媒体のプログラムによれば、ユーザは、第3の情報を、希望するタイミングで、確実に受信することができる。

【手続補正64】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 2 2 6  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正65】

【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 2 2 7  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 6 6】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 2 2 8  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 6 7】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 2 2 9  
【補正方法】削除  
【補正の内容】